

「韓流」ブーム

11月例会は「ラブストーリー」 / 「猟奇的な彼女」のクァク・ジェヨン監督作品

今年は台風の上陸が続き、加古川でも暴風による建物の一部損壊や、大水による床上・床下浸水がありました。全国的に見みれば、台風が通過するたびに、各地で洪水や土砂崩れなどなどの自然災害の爪あとが残り、その復旧のためには長年かかりそうです。また、新潟中越地方では地震による大きな被害もありました。被害のあった皆さまにはお見舞い申しあげます。また、復興に力を尽くしている皆さまには敬意を感じます。

暗いニュースが続きますが、多くの方が、ゆとりをもって映画を楽しめるようなることを願っています。

【どこまでいくのか「韓流」ブーム】

"微笑みの貴公子" こと韓国の人気俳優、ペ・ヨンジュン。「ヨン様」主演の韓国ドラマ「冬のソナタ」は日本の女性たちを中心に爆発的なブームを起こし、社会現象となりました。

"韓流"と書いて"ハンリュウ"って読むんです"この言葉を何回も聞くように、韓流つまり韓国大衆文化のブームは続いています。このブームは、テレビドラマ、映画、音楽、ファッションなど幅広いものです。

この契機となったのは、通貨危機に見舞われた韓国が、1998年から"BUY KOREA"という経済産業政策をとったことです。映画予算に年間およそ100億円、さらにソフト面ではホ・ジュノやイ・ジェヨンらを輩出し映画監督の士官学校といわれている"韓国映画アカデミー"が設立運営されています。最近では民間からの映画投資も盛んとなり、経済危機を転じて、大衆文化の活況を生み出したのです。

【前回例会の報告】

9月17日の例会「美しい夏キリシマ」には、164人の参加がありました。この作品は、戦場の場面の無い戦争映画で、いろいろ考えることも多い、なかなか渋い作品でした。

【次回例会のご案内】

名称 / 第15回例会「ラブストーリー」(129分)

日時 / 2004年11月17日(水)

PM1:50 ~ PM4:05 ~ PM6:25 ~ (時間注意)

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR東加古川駅北へ徒歩15分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を納入し入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

作品データ

タイトル: ラブストーリー

監督: クァク・ジョエン

出演: ソン・イェジン、チョ・スンウ、チョ・インソン、イ・ギウ、イ・サンイン

データ: 2003年、韓国、カラー、2時間9分、35mm

ジャンル: ドラマ/ロマンス

会員の声

この映画は、映像の美しいとびっきりの恋愛映画です。淡い恋に悩む娘が、35年前に母に宛てられたラブレターを見つけたところから、それぞれの恋愛物語が描かれています。これが実に甘くて切なくて美しいのです。

少女コミックのような真っすぐできらめくような恋愛映画です。細かなことは考えないようにして、その世界に浸ってください。

韓流ブームがこんなに熱くなかったときは、韓国の恋愛映画のことは、男性が詳しくなかったりしたのです。「八月のクリスマス」とか「イルマレ」とか「春の日は過ぎ行く」とか……。かわいくて心の強い女と、やさしくて女々しい男、日本の男性は、この組み合わせに共感する人が意外と多いようです。

この映画が気に入った人は、同じくクァク・ジョエン監督の「猟奇的な彼女」を観てください。この作品は、昨年度の加古川シネマクラブ忘年会で選んだ作品第1位でした。(Y.M)

【近ごろの映画から】

「千の風になって」を観てきました。この映画は、天国へ先立った大切な人へ向け自らの想いを込めて綴った手紙を朗読する新潟のラジオ局の名物コーナー「天国への手紙」を映画化した3話のオムニバスドラマです。映像、ストーリーや作品のつくり方などは、正直なところ良質とは感じませんでしたが、「身近な人の死を受け入れる」というテーマは、けっして暗いものではなく深いものでした。

とくに、農家のおやじを演じた綿引勝彦さんの演技は、それまでのストーリーのキレのワルさを忘れさせるほど存在感があり、なかなかすばらしく、一見の価値がありました。見終わったあとで、「女優が良い映画は救われる」という自論を考え直したみたいです。(ハインリッヒ)

【ご意見をお待ちしています】

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。ファックスまたはメールで投稿ください。200字までにまとめていただければ、ありがたいところです。

また、おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ ☎675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 217人(9月17日現在)